

## 窃盗罪の元アナ 二審も有罪判決

広島高裁

2012年9月に広島市南区の銀行で、記帳台に客が置き忘れた現金6万6600円入り封筒を盗んだとして窃盗罪に問われた同市アナウンサー・煙石博被告(68)の控訴審判決が11日、広島高裁であった。高麗邦彦裁判長は懲役1年、執行猶予3年(求刑懲役1年6月)とした一審広島地裁判決を支持し、煙石被告の控訴を棄却した。

防犯カメラの映像などを基に「被告が封筒を盗んだ事実が強く推認される」と認定した一審判決について、高麗裁判長は「判断に

誤りはない」と指摘。封筒に被告の指紋が付いていなかった点については「触れたとしても必ずしも対照可能な指紋が付着するとは限らない」などと述べ、煙石被告の無罪主張を退けた。

判決によると、煙石被告は12年9月24日午前9時20分ごろ、自宅近くの銀行で、会社員女性が記帳台に置き忘れた6万6600円入りの封筒を盗んだ。煙石被告は上告する方針。

年月

日

新

聞

2014年(平成26年)12月12日 金曜日

### フラッシュ

◆窃盗罪に問われた元中国放送アナウンサーの控訴棄却 銀行内で女性置き忘れた封筒から現金を盗んだとして、窃盗罪に問われた元中国放送アナウンサーの煙石(えんせき)博被告(68)の控訴審判決が11日、広島高裁であった。懲役1年執行猶予3年とした一審・広島地裁判決について、高麗邦彦裁判長は「事実の誤認はない」として、控訴を棄却した。煙石被告は即日上告した。

2014年(平成26年)12月12日(金曜日)

新

聞

新

聞

### 置き忘れの金窃盗 煙石元アナ控訴棄却

高裁

銀行内で置き忘れの金を盗んだとして窃盗罪に問われた中国放送の元アナウンサー・煙石博被告(68)の控訴審判決が11日、高裁であり、高麗邦彦裁判長は「窃盗を認定した一審判決に事実誤認はなかった」として懲役

1年、執行猶予3年とした地裁判決を支持、控訴を棄却した。

判決では、煙石被告は2012年9月24日、広島市内の銀行支店で別の客が記帳台に置き忘れた封筒から6万6600円を盗んだとした。高麗裁判長は「記帳台の上面に触れたのは被告しかおらず、被告が窃取したと推認される」とした。

また封筒を取ってから現金を抜き取る機会は十分にあったと指摘。1審で弁護側は、専門家が解析した防犯カメラの映像から、「封筒の現金を抜き取った映像は残っていない」などとして無罪を主張していた。

煙石被告は判決後、「むちゃくちゃな判決だ」と声を荒らげた。支援者らは広島弁護士会館で会見。弁護団は「司法に携わる者として残念な判決。最高裁で争いたい」と述べ、上告の方針を示した。